

桜川文芸

俳句

【桜川市岩瀬「萩」俳句会】

落蟬の抱きたる空の深さかな

藤田 凡鐘

虫の音や早起きのくせ亡夫に似て

若色 寿美女

山峽のひとすじ道や蕎麦の花

仁平 房女

曼球沙華観音様の仁王門

金田 とう女

未し方の影ふみしめて十三夜

萩原 勅彦

梨の木も人も老いたり吾亦紅

島田 喜与子

農終ひ肌の手入れをねんごろに

萩原 きしの

【茂山俳句会】

寂峰忌句碑にちちろの慕ひ鳴く

宮本 芳江

虫しぐれ音読の子を囁しをり

鈴木 ノブ子

秋冷やきのふと同じ鳥がゐる

井坂 洋子

桐箆筒よりの新涼防腐剤

泉 健作

香合の梵字浮きだす寂峰忌

海老澤 静夫

落葉掃く日々となりけり寂峰忌

松崎 いま

師の句碑に露のひかりを散りばめし

田崎 信子

老農の綻ぶ顔の豊の秋

大関 くに

秋霖や籬にしとど寂峰忌

吉原 秀子

寂峰忌秋冷触るる萩白し

竹林 てる

己が齒で新米食べてみたきかな

鶴見 菊江

朝風に夕風に秋来たりけり

植田 祥雲

素鮎鮓で済ます昼餉も寂峰忌

飯山 昭

【一般投稿】

八十六路良夜を水のごと眠り

木下 善信

短歌

【真壁短歌会】

孫の手をかりて登れる女体山耀歌の歌人

偲びつつ想う

田中 要

灯を慕い飛び来しならんガラス戸に身を

打ちつけて蟬は地に落つ

青木 栄子

旭山動物公園は親子連れの人群にて見し

は魚館のみ

市村 ヤス

灼熱を包み極まる鬼灯の赤の占めた
る八月の庭

根本 よし子

一言も迷うことなく「原爆の日」平

和宣言をなす小学生代表

宮田 君江

【一般投稿】

迷いつつ野ばらを折りて卓上に飾れ

ば三日生き生きと咲く

芝 せつこ

生命ある限り悪しくもはた良くも人

は移ろひ常なきものを

木下 善信

築山に美を競い合い金木犀優雅な香

気を部屋に入れこむ

大山 しげ

俚謡

【さくら俚謡会】

みんなしつかり健康管理

こわいインフル防ぐ日々

岩瀬 きみ子

着替え上手な女の襟を

なげて富谷の夕の鐘

稲葉 建正

バトンタッチを受け継ぐ孫に

夢を託した七・五・三

田 哲人

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111・75-3111、内線1268

広報 さくらがわ

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111・75-3111、内線1268

広報 さくらがわ